



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 福留ハム株式会社

上場取引所 東

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務経理部長 (氏名) 加藤 博美

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,325	△2.6	321	△26.0	348	△31.5	311	△11.6
29年3月期第3四半期	20,873	△5.4	434	△29.0	507	△22.2	352	△20.7

(注)包括利益 30年3月期第3四半期 668百万円 (24.7%) 29年3月期第3四半期 535百万円 (△7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	93.36	—
29年3月期第3四半期	105.64	—

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。当該株式併合が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	18,486	6,870	37.2
29年3月期	17,064	6,252	36.6

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 6,869百万円 29年3月期 6,251百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				15.00	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。年間配当金合計は、単純に合算できないため「—」と記載しております。なお、この内容につきましては、配当金額総額の予想を見直すものではありません。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,200	△1.9	220	△38.4	250	△43.7	230	△24.1	67.65

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	3,400,000 株	29年3月期	3,400,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	62,645 株	29年3月期	62,535 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	3,337,428 株	29年3月期3Q	3,337,992 株

※平成29年10月1日付で、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合がおこなわれたと仮定して算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、平成29年6月24日開催の第66回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株を1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり配当金 期末配当 3円00銭
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 13円53銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益の好調の持続や雇用・所得環境の改善がみられるなど景気は緩やかな回復基調で推移したものの、引き続き将来不安等からくる節約志向や米国の政治動向、中国の景気失速懸念等、海外経済の不確実性の高まりにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、消費者の低価格志向や競合他社との価格競争も激化し、さらに国内食肉相場は高値が継続するなど、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、創業100周年に向けて経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減努力を継続してまいりました。さらには、関西エリア等での販売強化の拠点として、平成29年10月より岡山支店と福山支店を統合し、岡山営業部(岡山県浅口市)を立ち上げました。

販売に関しましては、「JAS特級あらびきポークウインナー」のCM放映の放送エリアを拡大し、販売強化を図るとともに、商標登録ブランド「ロマンティック街道」シリーズに加えオリジナル商品「花ソーセージ」や歯ごたえ・ジューシー感が特徴の「JAS上級あらびきポークウインナー」などの重点商品の販売に注力してまいりました。ギフトにおきましても、高付加価値商品としまして「弥山」シリーズをリニューアルし、価格帯を増やすなど販売拡大に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、203億25百万円(前年同四半期比2.6%減)となりました。利益につきましては、営業利益は3億21百万円(前年同四半期比26.0%減)、経常利益は3億48百万円(前年同四半期比31.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、広島市の社宅跡地売却にともない固定資産売却益を計上したことなどにより、3億11百万円(前年同四半期比11.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、消費者の節約志向が続くなか、「JAS特級あらびきポークウインナー」、「JAS上級あらびきポークウインナー」及び「ローストビーフ」が堅調に推移いたしました。企業間競争の激化等により売上高は減少いたしました。

利益面においては、原材料価格の上昇や動力費等、製造コストの上昇により前期を下回りました。

その結果、売上高は89億85百万円(前年同四半期比4.4%減)、セグメント利益(営業利益)は5億40百万円(前年同四半期比20.4%減)となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、国産牛肉は、生産頭数減少の傾向にあり、昨年来からの相場高止まりによる高値からの消費の縮小が進み、売上高、販売量ともに減少いたしました。一方、輸入牛肉においては、高値の国産牛肉に比べて値頃感もあり、消費が伸びている環境下で売上増となりました。国産豚肉は、前年に比べ高値で推移する中で販売量は前年をわずかに上回り、輸入豚肉においては、チルド商品の売上を伸ばすことができ、セグメント利益に貢献いたしました。

その結果、売上高は113億40百万円(前年同四半期比1.2%減)、セグメント利益(営業利益)は1億59百万円(前年同四半期比21.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億22百万円増加の184億86百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7億88百万円増加の84億34百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金13億27百万円、原材料及び貯蔵品67百万円の増加及び現金及び預金6億23百万円の減少によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ6億33百万円増加の100億52百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物2億98百万円、機械装置及び運搬具1億19百万円、投資有価証券4億93百万円の増加及び有形固定資産のその他1億26百万円、繰延税金資産1億63百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ8億4百万円増加の116億16百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ9億93百万円増加の85億47百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金6億21百万円、短期借入金3億78百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億88百万円減少の30億69百万円となりました。主な要因は、長期借入金1億87百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億17百万円増加の68億70百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金3億39百万円及び利益剰余金2億61百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成29年11月10日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,720	3,097
受取手形及び売掛金	2,583	3,911
商品及び製品	943	975
仕掛品	50	53
原材料及び貯蔵品	248	316
繰延税金資産	79	54
その他	31	44
貸倒引当金	△12	△18
流動資産合計	7,645	8,434
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,836	2,135
機械装置及び運搬具（純額）	452	572
土地	3,591	3,625
リース資産（純額）	255	263
その他	166	40
有形固定資産合計	6,302	6,637
無形固定資産	78	59
投資その他の資産		
投資有価証券	2,452	2,946
繰延税金資産	352	189
その他	394	380
貸倒引当金	△160	△159
投資その他の資産合計	3,037	3,355
固定資産合計	9,419	10,052
資産合計	17,064	18,486

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,205	2,826
短期借入金	4,402	4,780
未払法人税等	73	50
賞与引当金	192	93
その他	680	795
流動負債合計	7,553	8,547
固定負債		
長期借入金	705	518
役員退職慰労引当金	294	307
退職給付に係る負債	2,052	2,001
その他	206	243
固定負債合計	3,258	3,069
負債合計	10,812	11,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	1,368	1,630
自己株式	△79	△80
株主資本合計	5,484	5,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	892	1,232
退職給付に係る調整累計額	△125	△108
その他の包括利益累計額合計	767	1,123
非支配株主持分	0	0
純資産合計	6,252	6,870
負債純資産合計	17,064	18,486

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	20,873	20,325
売上原価	16,784	16,437
売上総利益	4,088	3,887
販売費及び一般管理費	3,653	3,565
営業利益	434	321
営業外収益		
受取利息及び配当金	35	36
不動産賃貸料	42	43
貸倒引当金戻入額	37	-
その他	13	21
営業外収益合計	129	101
営業外費用		
支払利息	55	51
不動産賃貸費用	-	20
その他	1	3
営業外費用合計	56	75
経常利益	507	348
特別利益		
固定資産売却益	-	120
投資有価証券売却益	0	-
特別利益合計	0	120
特別損失		
固定資産除却損	0	-
投資有価証券売却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	507	468
法人税、住民税及び事業税	150	119
法人税等調整額	3	37
法人税等合計	154	156
四半期純利益	353	311
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	352	311

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	353	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	163	339
退職給付に係る調整額	18	16
その他の包括利益合計	182	356
四半期包括利益	535	668
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	534	668
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,396	11,476	20,873
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,396	11,476	20,873
セグメント利益	679	131	811

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	811
全社費用(注)	△376
四半期連結損益計算書の営業利益	434

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,985	11,340	20,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,985	11,340	20,325
セグメント利益	540	159	700

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	700
全社費用(注)	△378
四半期連結損益計算書の営業利益	321

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。